

平成27年度

業務実績・決算の概要

目 次

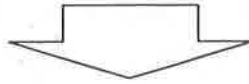
1. 平成27年度業務実績 .....	1
2. 平成27年度決算 .....	5
3. 平成27年度収支実績の前年度対比 .....	6
4. 平成27年度収支計画と収支実績の対比 .....	8

## 平成27年度業務実績

### 1 自己評価結果

#### (1) 自己評価の方法

- ① 年度計画の個別項目ごとに達成状況を5段階評価（5点、4点、3点、2点、1点）  
※3点が標準（達成度90～100%未満）



- ② 年度計画の4つの大項目ごとに達成状況を5段階評価（s、a、b、c、d）  
※bが標準（評点①の単純平均値2.7以上3.4以下）



- ③ 年度計画全体の達成状況を5段階評価（S、A、B、C、D）  
※Bが標準（評点②の加重平均値2.7以上3.4以下）

#### (2) 自己評価の結果

##### ◆全体的な状況

中期計画全体の進捗は「概ね順調」（B評価）

##### ◆評定概要

区 分	評 価 項目数	評点別項目数					評 点 平均数	評 定
		5点	4点	3点	2点	1点		
業務の質の向上	42	2	18	22	0	0	3.5	a
業務運営の改善及び効率化	6	0	3	3	0	0	3.5	a
財政内容の改善	1	0	0	0	1	0	2.0	c
その他重要事項	2	0	1	1	0	0	3.5	a
全 体	51	2	22	26	1	0	3.3	B

※全体欄の評点平均値は、加重平均したもの。

## 2 主要な成果

### (1) 業務の質の向上

#### ① 医療の提供

##### ア 総合医療センター

- (ア) 高度急性期病院としての重症系ユニットの強化(手術室、ICUの増床)。
  - ・手術室(ハイブリッド手術室新設を含む2室増加(7室→9室))
- (イ) 難易度の高い弓部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術の症例数は、国内トップレベル。
- (ウ) 合併症妊娠等のハイリスク妊娠・分娩において、循環器内科、脳神経外科等の全科の専門医との連携体制のもと、安全性の高い周産期医療を提供。
- (エ) 人工関節センターにおける人工関節(股・膝)置換術の手術件数は県内1位。
  - ・人工関節(股・膝)置換術件数377件(前年度実績343件)
- (オ) 早期の在宅復帰の促進のため、リハビリ専門医を確保するとともに、セラピストを増員し、365日リハビリテーションを実施。

##### イ こころの医療センター

- (ア) 児童思春期外来について、県内児童思春期の患者への専門治療に寄与するとともに、県を中心とした関係機関(児童相談所、知的障害者更生相談所)への医師派遣などの支援を実施。
- (イ) 高次脳機能障害支援拠点病院として、専門相談を受けるとともに、ボランティアの養成など支援ネットワークの充実による地域の支援体制を強化。

##### ウ 医療従事者の確保、専門性の向上

職種別人材の需給状況や医療機関の採用状況などの情報収集に努め、採用試験のあり方について検証し、試験時期の前倒し、随時採用試験などを実施。

##### エ 施設設備の整備

高度急性期医療機能の提供体制を整備し、機能を拡充。(総合C)

- ・ICU(6床増床(6床→12床))
- ・手術室(2室のうちハイブリッド室1室(7室→9室))

##### オ 医療安全対策、患者サービスの向上

- (ア) 新医療事故調査制度の実施に合わせ、総合医療センターにおいては事故調査制度マニュアルを作成、こころの医療センターにおいては医療安全対策ガイドラインの見直しを実施。
- (イ) 「入退院支援センター」において、全診療科の予約入院患者等に対する入院支援の実施。(総合C)
- (ウ) 適正な処遇の確保のために処遇検討委員会を開催するとともに、看護部行動制限最小化委員会を設置。(こころC)
- (エ) 朝の採血時間を7時半からとし、外来患者の診察待ち時間を短縮した。  
(総合C)
- (オ) 県民公開講座の開催(5回)及び病院広報誌の定期発行による情報提供並びにテレビ「やまぐち医療最前線」により高度・専門医療を県民に周知。(総合C)

カ 地域医療への支援

(ア) 地域医療支援病院の承認要件である紹介率は 66.9%、逆紹介率は 94.7%到達。  
(総合C)

(イ) 平成 27 年 4 月から脳卒中地域連携パス計画病院として登録・運用を開始。  
(総合C)

(ウ) 地域医療支援病院として、開放病床 5 床を設置し、利用の手引きを配布。  
(総合C)

② 医療に関する調査及び研究

治験及び製造販売後調査等を積極的に受託(製造販売後調査 33 件、治験 1 件など)。

③ 医療従事者等の研修

医療関係の実習生の積極的な受入(初期研修医 22 名、救急救命士 26 名など)。

(2) 業務運営の改善等

① 効率的・効果的な業務運営、経営改善

ア 経営管理体制の強化

・電子カルテ診療データ及びDPCデータ等を使用した迅速な詳細データ分析体制を構築するとともに、DPC分析ソフトの導入によるデータ分析を推進(総合C)

イ 2病院の連携

・薬剤部長の兼務、精神科医師・診療放射線技師の相互派遣を実施

② 収入の確保、費用の節減・適正化

ア 収入の確保

・診療部長会議等で分析結果を説明し、DPCデータを医療現場へ周知(総合C)

イ 費用の節減

・全国の医療機関のデータに基づくベンチマークによる価格交渉などにより、適正な価格での契約・購入を実施

(3) 財務内容の改善

経常収支の改善

(ア) 経常収支及び純損益の状況

経営努力以外のところで発生するコストである退職給付費用が市場の金利低下に伴い大幅に増加したため、経常収支の黒字化とはならなかった。

しかしながら、退職給付費用を除いた場合経常収支と純損益は黒字となる。

(千円)

区分	退職給付費用を含む場合		参考(退職給付費用を含まない場合)	
	経常損益	純損益	経常損益	純損益
総合医療センター	△113,219	△122,588	331,871	322,502
こころの医療センター	△121,422	△121,422	△1,650	△1,650
機構本部	△185,015	△188,823	△132,130	△135,938
法人全体	△419,656	△432,833	198,091	184,914

(イ) 医業収支の状況

収入の部は、前年度に比べ、664 百万円増加。

- ・入院診療収益は、診療単価・薬品収入の増(総合C)、診療単価の減(こころC)等
- ・外来診療収益は、診療単価の増(総合C)、外来患者数の増(こころC)等

《参考》

区 分		総合医療センター	こころの医療センター
入院	延患者数(人)	155,241	61,715
	診療単価(円)	64,547	21,883
外来	延患者数(人)	212,031	33,527
	診療単価(円)	14,076	6,308

支出の部は、前年度に比べ、1,202 百万円増加。

- ・市場の金利低下に伴い、経営努力以外のところで発生するコストである退職給付費用が大幅に増加
- ・退職給付費用を除いた場合、637 百万円増加

(4) その他重要事項

① 人事に関する事項

職種別人材の需給状況や医療機関の採用状況などの情報収集に努め、採用試験のあり方について検証し、試験時期の前倒し、随時採用試験などを実施。  
また、募集パンフレットの新規作成など効果的な病院情報の発信を検討実施。

② 就労環境に関する事項

職員満足度アンケート調査結果をもとに、医師用仮眠室を設置(7床)。

3 対処すべき課題

- (1) 平成28年度に策定される「地域医療構想」において医療機能の現状、今後の医療需要及び病床の必要量を推計し、県立病院として目指すべき医療提供体制を実現するため、医療機能の分化・連携を進める施設設備整備、医療従事者の確保・養成を図ることが必要である。(総合C、こころC)
- (2) 高齢化やへき地の人口減少が進む中、へき地への継続的な巡回診療や代替診療を実施するため、医師や看護師を確保していくことが必要である。(総合C)
- (3) 県立病院として高度専門医療を提供するため、呼吸器科をはじめとする医師の確保に努める必要がある。また、重症系ユニットの有効活用及び急性期看護配置の安定に向けた看護師の確保に努める必要がある。(総合C)
- (4) 医療品及び診療材料の購入については、ベンチマークを用いた値引き交渉を行い、引き続き、費用削減を図る必要がある。(総合C、こころC)

平成27年度決算

1 企業会計ベース

(1) 貸借対照表の要旨 (平成28年3月31日現在)

(単位 百万円)

資産の部		負債及び純資産の部	
固定資産	14,760	固定負債	14,232
有形固定資産	14,536	資産見返負債	1,434
土地	3,734	長期借入金	2,081
建物	8,587	移行前地方債償還債務	4,796
器械備品	2,211	退職給付引当金	5,921
その他	4	流動負債	3,263
無形固定資産	220	一年以内返済予定	1,172
投資その他の資産	4	未払金	1,551
流動資産	7,038	その他	540
現金及び預金	4,207	【負債合計】	17,495
未収入金	2,767	資本金	3,144
その他	64	利益剰余金	1,159
		【純資産合計】	4,303
合計	21,798	合計	21,798

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。以下同じ。

(2) 損益計算書の要旨 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(単位 百万円)

費用及び損失の部		収益及び利益の部	
営業費用	17,324	営業収益	16,840
医業費用	16,443	医業収益	14,828
一般管理費	359	運営費負担金収益	1,700
その他	522	その他	312
営業外費用	77	営業外収益	141
臨時損失	13	運営費負担金収益	37
当期純損失	△433	その他	104
		臨時利益	0
合計	16,981	合計	16,981

2 官庁会計ベース

(単位 百万円)

収入の部		支出の部	
営業収益	16,840	営業費用	15,360
医業収益	14,828	医業費用	14,518
運営費負担金収益	1,700	一般管理費	320
その他	312	その他	522
営業外収益	141	営業外費用	77
運営費負担金収益	37	臨時損失	0
その他	104	資本支出	1,837
臨時利益	0	建設改良費	690
資本収入	638	償還金	1,147
長期借入金	631	資金収支	345
その他資本収入	7		
合計	17,619	合計	17,619

平成27年度収支実績の前年度対比

山口県立病院機構

【医業収益】

入院診療収益は、総合医療センターにおける集中治療室の利用率の増加や救急医療管理加算の算定強化などによる診療単価の増により増加。

外来診療収益は、総合医療センターにおける外来化学療法の増や、こころの医療センターにおける専門外来患者数の増により増加。

【その他収益】

営業収益における運営費負担金は、総合医療センターにおける救急医療に要する経費の減があったものの、こころの医療センターにおける企業債償還金の増（電子カルテ）により増加。

その他営業収益は、こころの医療センターにおける精神科救急システム受託料の減により減少。

営業外収益のその他営業外収益は、総合医療センターにおける医療器機の損害保険給付の増により増加。

【医業費用】

給与費は、退職給付費用の増により増加。

材料費は、価格交渉などによる診療材料費の減があったものの、医薬品費の増により増加。

経費は、総合医療センターにおける賃借料及び委託費の増により増加。

減価償却費は、総合医療センターにおける手術室や集中治療室の改修などにより増加。

【その他費用】

控除対象外消費税は、資産に係る控除対象外消費税の減により減少。

臨時損失は固定資産除却費の減により減少。

◆対比表（損益計算書ベース）

（単位 千円）

区 分	H26	H27	差額	主な増減内容（前年度対比）
収入の部	16,303,594	16,981,207	677,613	
営業収益	16,181,096	16,839,429	658,333	
医業収益	14,164,423	14,827,525	663,102	
うち入院診療収益	10,959,155	11,370,782	411,627	診療単価の増
うち外来診療収益	2,967,800	3,196,109	228,309	診療単価及び外来患者数の増
運営費負担金収益	1,691,691	1,699,724	8,033	企業債償還金の増（こころC）
その他営業収益	324,982	312,180	△12,802	精神科救急システム受託料の減（こころC）
営業外収益	122,236	141,534	19,298	
運営費負担金収益	39,896	36,679	△3,217	借入利息の減
その他営業外収益	82,340	104,855	22,515	器機損害保険給付の増（総合C）
臨時利益	262	245	△17	
支出の部	16,251,073	17,414,040	1,162,967	
営業費用	16,134,967	17,323,236	1,188,269	
医業費用	15,240,808	16,442,427	1,201,619	
給与費	8,097,641	8,926,421	828,780	給与改定による増
(退職給付費用の影響額)	0	(564,862)	(564,862)	退職給付費用の増
材料費	3,680,285	3,884,110	203,825	医薬品費の増
経費	2,198,080	2,237,825	39,745	賃借料、委託費の増（総合C）
減価償却費	1,202,668	1,332,115	129,447	手術室、集中治療室改修に伴う償却費の増（総合C）
その他医業費用	62,134	61,956	△178	
一般管理費	310,505	358,940	48,435	
(退職給付費用の影響額)	0	(52,885)	(52,885)	退職給付費用の増
控除対象外消費税等	583,655	521,869	△61,786	資産に係る控除対象外消費税の減
営業外費用	75,417	77,382	1,965	
臨時損失	40,689	13,422	△27,267	固定資産除却費の減
当期純損失 a	52,521	△432,833	△485,354	
(退職給付費用の影響額) b	0	(617,747)	(617,747)	
退職給付費用の影響額を除いた場合				
当期純利益 a + b	52,521	184,914	132,393	

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。



◆平成27年度収支実績の前年度対比表(部門別内訳)

前年度対比  
(単位 千円)

区分	H26収支実績 A				H27収支実績 B				差額 (B-A)				主な増減理由(前年度対比)		
	総合C	こころC	本部	計	総合C	こころC	本部	計	総合C	こころC	本部	計	総合C	こころC	本部
収入の部	14,094,358	2,029,099	180,137	16,303,594	14,771,283	2,033,031	176,893	16,981,207	676,925	3,932	△3,244	677,613			
営業収益	13,994,225	2,006,743	180,128	16,181,096	14,651,357	2,011,199	176,873	16,839,429	657,132	4,456	△3,255	658,333			
医業収益	12,598,819	1,565,604	0	14,164,423	13,264,807	1,562,718	0	14,827,525	665,988	△2,886	0	663,102			
うち入院診療収益	9,601,953	1,357,203	0	10,959,155	10,020,274	1,350,508	0	11,370,782	418,321	△6,695	0	411,627	診療単価の増 (63,077円→64,547円)	診療単価の減 (22,074円→21,883円)	
うち外来診療収益	2,760,147	207,654	0	2,967,800	2,984,620	211,489	0	3,196,109	224,473	3,835	0	228,309	診療単価の増 (12,891円→14,076円)	外来患者の増 (32,751人→33,527人)	
運営費負担金収益	1,161,114	350,449	180,128	1,691,691	1,156,032	366,819	176,873	1,699,724	△5,082	16,370	△3,255	8,033	救急医療に要する経費の減	企業債償還金(電子カルテ)の増	看護学校人件費の減
その他営業収益	234,292	90,690	0	324,982	230,518	81,662	0	312,180	△3,774	△9,028	0	△12,802	臨床研修医補助金の減	精神科救急システム受託料の減	
営業外収益	99,871	22,356	9	122,236	119,682	21,832	20	141,534	19,811	△524	11	19,298			
運営費負担金収益	22,843	17,053	0	39,896	20,502	16,177	0	36,679	△2,341	△876	0	△3,217	借入利息の減		
その他営業外収益	77,028	5,303	9	82,340	99,180	5,655	20	104,855	22,152	352	11	22,515	器機損害保険給付の増		
臨時利益	262	0	0	262	245	0	0	245	△17	0	0	△17			
支出の部	13,929,159	2,009,286	312,628	16,251,073	14,893,871	2,154,453	365,716	17,414,040	964,712	145,167	53,088	1,162,967			
営業費用	13,849,379	1,973,041	312,547	16,134,967	14,839,124	2,122,204	361,908	17,323,236	989,745	149,163	49,361	1,188,269			
医業費用	13,297,601	1,943,207	0	15,240,808	14,350,141	2,092,286	0	16,442,427	1,052,540	149,079	0	1,201,619			
給与費	6,743,429	1,354,212	0	8,097,641	7,420,352	1,506,069	0	8,926,421	676,923	151,857	0	828,780	給与改定による増	給与改定による増	
(退職給付費用の影響額)	0	0	0	0	(445,090)	(119,772)	0	(564,862)					退職給付費用の増		
材料費	3,591,171	89,115	0	3,680,285	3,789,798	94,312	0	3,884,110	198,627	5,197	0	203,825	医薬品費の増	医薬品費の増	
経費	1,936,033	262,047	0	2,198,080	1,978,794	259,031	0	2,237,825	42,761	△3,016	0	39,745	器機賃借料、委託費の増	水道光熱費等の減	
減価償却費	972,856	229,812	0	1,202,668	1,107,981	224,134	0	1,332,115	135,125	△5,678	0	129,447	手術室、集中治療室改修に伴う償却費の増	医療用器械備品における償却費の減	
その他医業費用	54,112	8,022	0	62,134	53,216	8,740	0	61,956	△896	718	0	△178			
一般管理費	0	0	310,505	310,505	0	0	358,940	358,940	0	0	48,435	48,435			
(退職給付費用の影響額)	0	0	0	0	0	0	(52,885)	(52,885)					退職給付費用の増		
控除対象外消費税等	551,778	29,834	2,042	583,655	488,983	29,918	2,968	521,869	△62,795	84	926	△61,786	資産にかかる控除対象外消費税の減		
営業外費用	41,196	34,141	80	75,417	45,133	32,249	0	77,382	3,937	△1,892	△80	1,965			
臨時損失	38,584	2,105	0	40,689	9,614	0	3,808	13,422	△28,970	△2,105	3,808	△27,267	公舎除却費の減	パソコン除却費の減	システム除却による増
当期純損失 a	165,199	19,813	△132,491	52,521	△122,588	△121,422	△188,823	△432,833	△287,787	△141,235	△56,332	△485,354			
(退職給付費用の影響額) b	0	0	0	0	(445,090)	(119,772)	(52,885)	(617,747)	0	0	0	0			

退職給付費用の影響額を除いた場合

当期純利益 a + b	165,199	19,813	△132,491	52,521	322,502	△1,650	△135,938	184,914	157,303	△21,463	△3,447	132,393			
-------------	---------	--------	----------	--------	---------	--------	----------	---------	---------	---------	--------	---------	--	--	--

医業収支比率	94.75%	80.57%			95.40%	79.22%									
--------	--------	--------	--	--	--------	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(注)計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

# 平成27年度収支計画と収支実績の対比

山口県立病院機構

## 【医業収益】

入院診療収益は、総合医療センター、こころの医療センターともに診療単価の減により減少。

外来診療収益は、総合医療センターにおける化学療法の増や、こころの医療センターにおける専門外来患者数の増により増加。

## 【その他収益】

その他営業収益は、総合医療センターにおける臨床研修医補助金や、こころの医療センターにおける精神科救急システム受託料の減などにより減少。

営業外収益の運営費負担金は、借入利息の減により減少。その他営業外収益は、総合医療センターにおける医療器機の損害保険給付の増により増加。

## 【医業費用】

医業費用は、総合医療センターにおける診療材料費の減や両病院における委託費の減などがあったものの、退職給付費用の増による給与費の増や、総合医療センターにおける化学療法など稼働の増に伴う材料費の増などにより増加。

## 【その他費用】

一般管理費は、退職給付費用の増により増加。

臨時損失は固定資産除却費の減により減少。

### ◆対比表（損益計算書ベース）

（単位 千円）

区 分	収支計画	収支実績	差額	主な増減内容（計画対比）
収入の部	16,784,491	16,981,207	196,716	
営業収益	16,659,706	16,839,429	179,723	
医業収益	14,600,641	14,827,525	226,884	
うち入院診療収益	11,422,559	11,370,782	△51,777	診療単価の減
うち外来診療収益	2,934,163	3,196,109	261,946	診療単価及び外来患者数の増
運営費負担金収益	1,699,610	1,699,724	114	
その他営業収益	359,455	312,180	△47,275	臨床研修医補助金の減（総合C）
営業外収益	124,785	141,534	16,749	
運営費負担金収益	38,776	36,679	△2,097	借入利息の減
その他営業外収益	86,009	104,855	18,846	器機損害保険給付の増（総合C）
臨時利益	0	245	245	
支出の部	16,726,503	17,414,040	687,537	
営業費用	16,626,246	17,323,236	696,990	
医業費用	15,748,116	16,442,427	694,311	
給与費	8,294,947	8,926,421	631,474	給与と改定に伴う増
(退職給付費用の影響額)	0	(564,862)	(564,862)	退職給付費用の増
材料費	3,731,934	3,884,110	152,176	医薬品費の増
経費	2,318,071	2,237,825	△80,246	委託費の減
減価償却費	1,332,454	1,332,115	△339	
その他医業費用	70,710	61,956	△8,754	研究費、研修費の減
一般管理費	341,926	358,940	17,014	
(退職給付費用の影響額)	0	(52,885)	(52,885)	退職給付費用の増
控除対象外消費税等	536,204	521,869	△14,335	消費税対象経費の減
営業外費用	76,403	77,382	979	
臨時損失	23,854	13,422	△10,432	固定資産除却費の減（総合C）
当期純損失 a	57,988	△432,833	△490,821	
(退職給付費用の影響額) b	0	(617,747)	(617,747)	
退職給付費用の影響額を除いた場合				
当期純利益 a + b	57,988	184,914	126,926	

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

◆平成27年度収支計画と収支実績との対比表(部門別内訳)

計 画 対 比

(単位 千円)

区分	H27収支計画 A				H27収支実績 B				差額 (B-A)				主な増減理由(計画対比)		
	総合C	こころC	本部	計	総合C	こころC	本部	計	総合C	こころC	本部	計	総合C	こころC	本部
収入の部	14,501,685	2,085,912	196,894	16,784,491	14,771,283	2,033,031	176,893	16,981,207	269,598	△52,881	△20,001	196,716			
営業収益	14,399,938	2,062,874	196,894	16,659,706	14,651,357	2,011,199	176,873	16,839,429	251,419	△51,675	△20,021	179,723			
医業収益	13,002,128	1,598,513	0	14,600,641	13,264,807	1,562,718	0	14,827,525	262,679	△35,795	0	226,884			
うち入院診療収益	10,027,402	1,395,157	0	11,422,559	10,020,274	1,350,508	0	11,370,782	△7,128	△44,649	0	△51,777	診療単価の増 (63,077円→64,547円)	診療単価の減 (22,074円→21,883円)	
うち外来診療収益	2,731,593	202,570	0	2,934,163	2,984,620	211,489	0	3,196,109	253,027	8,919	0	261,946	診療単価の増 (12,891円→14,076円)	外来患者の増 (32,751人→33,527人)	
運営費負担金収益	1,131,070	371,646	196,894	1,699,610	1,156,032	366,819	176,873	1,699,724	24,962	△4,827	△20,021	114	臨床研修医に関する経費の増	共済追加費用の減	看護学校人件費の減
その他営業収益	266,740	92,715	0	359,455	230,518	81,662	0	312,180	△36,222	△11,053	0	△47,275	臨床研修医補助金の減	精神科救急システム受託料の減	
営業外収益	101,747	23,038	0	124,785	119,682	21,832	20	141,534	17,935	△1,206	20	16,749			
運営費負担金収益	22,410	16,366	0	38,776	20,502	16,177	0	36,679	△1,908	△189	0	△2,097	借入利息の減		
その他営業外収益	79,337	6,672	0	86,009	99,180	5,655	20	104,855	19,843	△1,017	20	18,846	器機損害保険給付の増		
臨時利益	0	0	0	0	245	0	0	245	245	0	0	245			
支出の部	14,290,840	2,085,884	349,779	16,726,503	14,893,871	2,154,453	365,716	17,414,040	603,031	68,569	15,937	687,537			
営業費用	14,227,339	2,052,937	345,970	16,626,246	14,839,124	2,122,204	361,908	17,323,236	611,785	69,267	15,938	696,990			
医業費用	13,726,307	2,021,809	0	15,748,116	14,350,141	2,092,286	0	16,442,427	623,834	70,477	0	694,311			
給与費	6,878,408	1,416,539	0	8,294,947	7,420,352	1,506,069	0	8,926,421	541,944	89,530	0	631,474	給与改定に伴う増	給与改定に伴う増	
(退職給付費用の影響額)	0	0	0	0	(445,090)	(119,772)	0	(564,862)					退職給付費用の増		
材料費	3,640,559	91,375	0	3,731,934	3,789,798	94,312	0	3,884,110	149,239	2,937	0	152,176	医薬品費の増	医薬品費の増	
経費	2,038,872	279,199	0	2,318,071	1,978,794	259,031	0	2,237,825	△60,078	△20,168	0	△80,246	委託費、報償費の減	委託費等の減	
減価償却費	1,108,171	224,283	0	1,332,454	1,107,981	224,134	0	1,332,115	△190	△149	0	△339			
その他医業費用	60,297	10,413	0	70,710	53,216	8,740	0	61,956	△7,081	△1,673	0	△8,754	研究費、研修費の減		
一般管理費	0	0	341,926	341,926	0	0	358,940	358,940	0	0	17,014	17,014			
(退職給付費用の影響額)	0	0	0	0	0	0	(52,885)	(52,885)					退職給付費用の増		
控除対象外消費税等	501,032	31,128	4,044	536,204	488,983	29,918	2,968	521,869	△12,049	△1,210	△1,076	△14,335	資産にかかる控除対象外消費税の減		
営業外費用	43,501	32,902	0	76,403	45,133	32,249	0	77,382	1,632	△653	0	979			
臨時損失	20,000	45	3,809	23,854	9,614	0	3,808	13,422	△10,386	△45	△1	△10,432	固定資産除却費の減		
当期純損失 a	210,845	28	△152,885	57,988	△122,588	△121,422	△188,823	△432,833	△333,433	△121,450	△35,938	△490,821			
(退職給付費用の影響額) b	0	0	0	0	(445,090)	(119,772)	(52,885)	(617,747)	0	0	0	0			
退職給付費用の影響額を除いた場合															
当期純利益 a + b	210,845	28	△152,885	57,988	322,502	△1,650	△135,938	184,914	111,657	△1,678	16,947	126,926			
医業収支比率	94.72%	79.06%			95.40%	79.22%									

(注)計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。